



**固定
資産税**

同じ建物なのに家屋評価で差異

市は、Aさんに20年分32万9000円を返金

**同じ連棟式建物
仕様でなぜ?**



連棟式住宅

連棟式住宅は3軒なのに1棟として建築申請。30年前、申請費が安くなると市内に多く建設されました。しかし、現在建替えができない、ローンが払えない場合など多くの課題を抱えています。

**37%の違い
説明出来ず**

家屋を建てるとその家屋に対して固定資産税がかかります。通常、同じ建物、同じ仕様であれば固定資産税は同じはずですが。

ところが連棟式に住んでいるAさんは、隣りの家屋固定資産税額と比較し、37%も高いことに驚きました。市に説明を求めても納得がいきません。そ

の後、市から20年分の差額として32万9千円を返金してきました。私は、Aさんから話を聞いて、12月市議会に固定資産税の家屋評価のあり方、情報開示について質問しました。なぜ差が乗じるのか。そしてAさんの家屋評価計算書は市が保存し、開示・提出義務があるかと追及しました。財政部長はAさんの場合「相談を受け批准評価に基づき行つたところ差異が生じ、還付

**文書不存在
は通用しない**

金の支払いをした。文書は不存在で、異議申し立ても却下されている」と答弁しました。

私は、Aさんは20年間分を37%で計算すると差額は75万円になると言っている。文書不存在は、市の管理責任の問題であり、通用しない。全額を払うべきだとの再々の追及に、市は「文書がない。却下されている」との答弁に終始しました。



文書がないのは市の責任なので、75万円をお支払いするの当然です。

評価担当者は研修を受けませんが、建築士ではありません。単純ミスをする場合もあります。建売や連棟式に住む住民が税金の違いがないか確かめてみてはどうでしょうか(金子)

**市政アンケートの
回答で現地調査**



草が生えた外環代替地10月

外環代替地

曾谷6丁目にある外環代替地。市は固定資産税を免除、維持管理にも税金が使われています。不足している特養ホームなど、市民への活用に全力を尽くします。

**通学路の
安全対策**

通学路の安全対策では多くの要望が寄せられています。写真は柏井町の通学路。歩道が途中で切れて、車道を歩かざるを得ません。



**歩道の拡幅
安全対策**

写真(大野町)はセツトバックしたのに歩道に段差があるため通行できません。住民からの要望で市に改善を求めました。

市川大野駅 周辺の歩道整備が完了しました

市川大野駅周辺の歩道整備やバス停が完成し、市の3カ年事業計画がほぼ終了となりました。今後3月までには、駅前に周辺公共施設の案内看板が設置される予定です。

私は議員になって、一貫して駅のバリアフリー化、周辺道路の歩道整備が残りていますが、引き続き皆さんの要望に添えて安心・安全な街へ頑張つてまいります。



あんしん住宅助成制度概要

補助対象は、自己所有の住宅（集合住宅は専用部）で、対象工事（バリアフリー・防災性向上・省エネ）に事業費の3分の1、10万円を限度に助成。条件は市内施工業者（法人・個人）を利用すること。

あんしん住宅助成制度 対象範囲の拡大を検討

新規事業として昨年「からあんしん住宅助成制度が始まりました。私は、12月市議会では「家の基礎のかさ上げ（水害対策として水を止める）、バリアフリーでは玄関までの手すり設置も検討する。周知について、施工業者の周知徹底と利用者には写真などの事例をもつと紹介する」と答弁しました。来年度も事業が継続されます。対象になる方は早めにご利用ください。

「実績として、あんしん住宅助成が63件（平均工事費94万円）、防災リフォーム助成が32件（平均182万円）合計95件、1億1700万円の経済効果があった。市内業者が44社」。課題は「目標が達成

今年もがんばります

昨年のご支援ありがとうございました。安倍内閣の暴走を許さず、住民が主人公の新しい政治の実現をめ



日本最北端の地から

北東部地域の予算 要望を提出します

市政アンケートに皆さんから多くの要望が寄せられました。



北東部地域については生活道路の改善を求める要望が多く出されています。そこで、曾谷・稻越町・宮久保・下貝塚・大柏地域の要望を1月中旬に市に提出します。写真は、昨年度道路交通部に要望書を渡し、担当課に説明しているところです。

編集後記

▼正月は箱根駅伝を見ながら過ごしました。母校のタスキを何としてみんなと共有する若者の懸命な走りに胸を熱くする思いでした。新年を迎え、私の議員活動をスタートするにあたり、大いに刺激を受けました。

▼一面の固定資産税の家屋調査の件で市民から相談を受け、今回の質問を準備するなかで私も大いに勉強になりました。これからもどんなことにも挑戦し、言うべきことはしっかりと発言していきます。

お気軽に相談を

仕事くらしの悩み

連絡先 金子貞作 337-6184 (夜間)